

静岡県の学校図書館

平成 27 年 7 月 発行
静岡県総合教育センター
生涯学習推進室

司書教諭と学校司書
との連携による
学校図書館の整備・
運営を目指して

- 「司書教諭」は、学校図書館を活用した授業を実践するとともに、学校図書館を活用した授業における教育指導法や情報活用能力の育成等について積極的に他の教員に助言することが期待される。
- 「学校司書」は、学校図書館を運営していくために必要な専門的・技術的職務に従事するとともに、学校図書館を活用した授業やその他の教育活動を司書教諭や教員と共に進める。

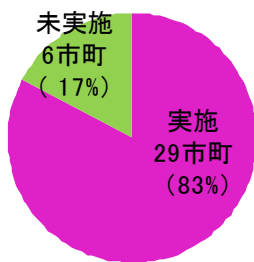
「学校図書館担当職員の役割及びその資質の向上に関する調査研究協力者会議報告」(平成 26 年 3 月 文部科学省)

司書教諭は、教諭として採用された者が学校内の役割としてその職務を担当し、学校図書館資料の選択・収集・提供や子どもの読書活動に対する指導等を行うなど、学校図書館の運営・活用について中心的な役割を担います。一方、学校司書は、図書館資料の管理、館内閲覧・館外貸出などの児童生徒や教員に対する「間接的支援」や「直接的支援」に加え、各教科等の指導に関する支援など「教育指導への支援」に関する職務を担っていくことが求められています。このように司書教諭と学校司書が互いの役割を認識し、学校図書館を運営・整備していくことが大切なのです。

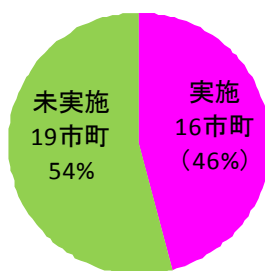
今回は、県内の市町を対象に当センターで行った小中学校における司書教諭及び学校司書に関するアンケートについて紹介します。県内 35 市町のうち、各小中学校での学校司書の配置や研修に関わるアンケートです。市町の回答は以下のとおりです。

【平成27年度 市町教育委員会主催の司書教諭等対象研修に関する調査】

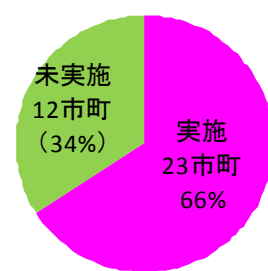
学校司書等の配置



司書教諭対象研修



学校司書対象研修



司書教諭・学校司書を対象に以下のような研修が行われています。()内は市町の数

- ・学校図書館教育全体計画に関すること (10)
- ・資料の収集、選択、管理に関すること (21)
- ・各校の実践発表 (14)
- ・学校図書館活用学習に関すること (19)
- ・公共図書館との連携に関すること (14)
- ・ボランティアとの連携に関すること (11)

各市町での学校司書の配置率は年々上がってきています。これは、今年 4 月より学校司書が「法制化」されたことが理由と考えられます。また、配置の市町のうち、全校配置がされているのは 8 市町となっています。市町によって状況は異なりますが、学校図書館の円滑な運営のため、子どもたちの健やかな学びのため、司書教諭と学校司書の連携がより密になることが期待されます。

司書教諭と学校司書が連携した取り組み

藤枝市立青島北中学校

6月17日、青島北中学校にて藤枝市教育研究会学校図書館部の研修会が行われました。藤枝市では、年数回、学校図書館担当を対象にした研修を行っています。

今回は、学校図書館を活用した授業を行い、市内の小中学校から司書教諭、学校図書館担当教員、学校司書の方々が参加されました。

今回の授業では、読書指導をテーマに「ビブリオバトル」を行いました。「ビブリオバトル」とは、「知的書評合戦」とも呼ばれ、お互いの気に入った本を紹介し合い、その中で最も興味をひいた「チャンプ本」を選ぶという活動です。

事前に自分の気に入った本を見つけ、それについて紹介できるように準備します。原稿などは用意せず、必要なことをメモする程度にし、あとは本番でいかに仲間にその本のよさを伝えるかが勝負です。どの生徒も読み応えのある本を選び、その本の面白さや作者の思いなど自分の思いをしっかりと伝えていました。

また、青島北中学校の学校司書は普段から、ブックトークや本の紹介など、生徒たちへ積極的に関わってくださっているそうです。この授業の中でも本の紹介をする生徒の近くに寄り添い、アドバイスをしていました。日々の業務が忙しく、図書館担当の先生との連絡は「連絡ノート」を活用し、授業で必要な本や図書館の配架に関わる打ち合わせをしているそうです。少ない時間の中でも大切な連携のための「ノート」になっているそうです。



島田市立初倉小学校

島田市立初倉小学校では、司書教諭、学校図書館担当教員、学校司書が連携して学校図書館を運営しています。市内3校を担当している学校司書は、他の学校の様子と比べながら、読書週間の取り組み、夏休みの貸出冊数や図書の配架等、図書館担当教員と密に連絡を取り合っ

て業務をこなしています。図書館担当教員も忙しい中、時間を取って、昼休みや休み時間等、打ち合わせをしているそうです。オープンスペースの図書館は、学校の中心にあり、どの子どもも気軽に入りやすく使いやすい図書館です。業間休みや昼休みにはいつも子どもたちがやってきます。入り口には「島田100選」という市内で選ばれた本が並び、新書や図書委員のお薦めの本が並べられています。6月は読書月間ということで、本を読み終わると花を貼ってあじさいの花を咲かせるという掲示物も作られています。またある先生は、社会の授業で扱う歴史に関する本を学校司書に依頼し、調べ学習で学校図書館を活用しています。授業で扱った本は、図書館の入り口に展示されていました。今後は、公共図書館とも連携を取り、子どもたちの読書の幅を広げていきたいとのことでした。この夏、耐震化のため図書館が改築されることになりました。半年の間図書館は使えなくなるそうですが、本を読むことが大好きな子どもたちは、次なる新しい図書館の開館を楽しみにしていることでしょう。

静岡県総合教育センター 生涯学習推進室は **学校図書館を支援**します

たとえば…!

- 1 配架の方法
- 2 選書の方法
- 3 図書の廃棄
- 4 いろいろな読書活動
- 5 ボランティアとの連携
- 6 年間計画の立て方 など



<問い合わせ先>

静岡県総合教育センター 生涯学習推進室

<電話>

0537-24-9714